

## 沿岸域における堆積軟岩を対象とした大深度オールコア掘削の現状と課題 Present state and future challenges of deep all-core drilling in coastal zones

越谷 賢<sup>1\*</sup>, 吉岡 正光<sup>2</sup>, 丸井 敦尚<sup>1</sup>

KOSHIGAI, Masaru<sup>1\*</sup>, YOSHIOKA, Masamitsu<sup>2</sup>, MARUI, Atsunao<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 産業技術総合研究所, <sup>2</sup> サンコーコンサルタント株式会社

<sup>1</sup>Geological Survey of Japan, AIST, <sup>2</sup>Suncoh Consultants Co., Ltd.

地質環境に関わる情報は、都市基盤の整備、産業立地、防災計画などにとって必要不可欠であり、近年では地下空間の利用や未利用資源の開発に関連して深度数 100m を超える地下深部にも関心が高まっている。詳細な地下の地質情報を把握するには、調査掘削を行ってコアを採取し、各種試験、分析、解析を行う必要がある。ただし、社会ニーズの大きい沿岸域の地下には軟質な地層（堆積軟岩）が厚く分布し、それらを対象とした調査掘削に関わる技術にはいまだ課題が多い。本報では、これまでに沿岸域で実施された大深度オールコア掘削に関わる調査事例をレビューし、技術的な現状と将来課題について取りまとめる。

謝辞：本研究は、経済産業省よりの委託研究「沿岸域塩淡水境界・断層評価技術高度開発」の研究成果の一部である。ここに記して謝意を表します。

キーワード: 大深度オールコア掘削, 沿岸域, 堆積軟岩

Keywords: Deep all-core drilling, Coastal area, Sedimentary soft rocks